

(株)日本政策投資銀行  
不動産ノンリコース事業への取り組みについて

2010年11月19日



# Disclaimer

## 免責事項

著作権 (C) Development Bank of Japan Inc. 2008

当資料は、株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) により作成されたものです。

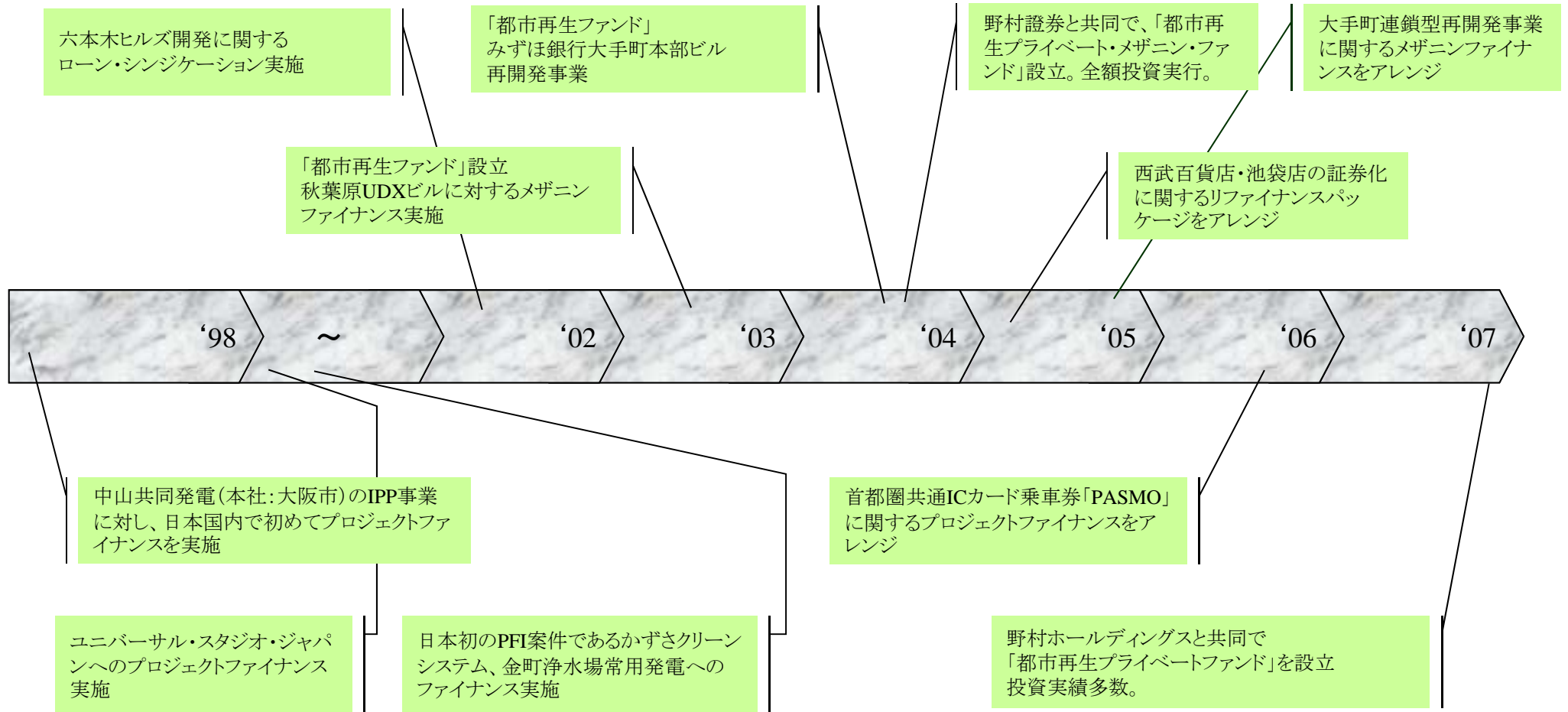
当資料は、今回のヒアリング限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当資料のご利用並びに取り組みの最終決定に際しましては、貴社ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料 (添付資料を含む) の全部または一部を引用または複製することを禁じます。

# DBJが関与した大型案件の実績

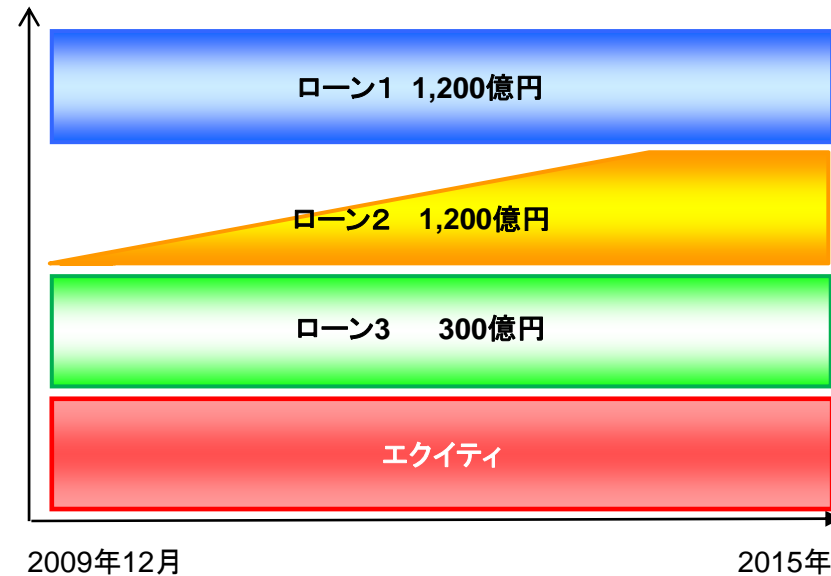


※上記の他、プロジェクトファイナンス/PFI案件、アセットファイナンス案件の実績多数

## 事例 大手町1-6計画



【ファイナンスストラクチャー概要】



- 大手町1丁目6番地において、都市再生特区の認定を受け、延床面積約200,000㎡、高さ200m、38階建の大規模複合ビルを開発
- 本邦史上最大の不動産ノンリコースローン(総額2,700億円、26金融機関が参加)であり、DBJは全額についてリードアレンジメントを実施
- ローン1対してMoody'sからAa3の格付を取得

# 事例 危機対応 不動産市場安定化ファンド

## 不動産市場のセーフティネットとしてのファンド組成

- ◆不動産の最終的な買い手であるリートのセーフティネットとして、償還が予定されている投資法人債のリファイナンス資金の融資を主たる目的とするデットファンドとして組成。
- ◆資金調達については各金融機関からのシニアローン、DBJからのメザニンローン、関係業界(不動産、銀行、信託銀行、証券会社等)からのエクイティにて構成。
- ◆メザニンローンには内外の金融秩序の混乱への対応として危機対応融資スキームを活用。

